

二 職工側ノ態度

年穩裡ニ散會セリ
年穩希生以來六十餘日ヲ經過シタル為メ有
家族者ハ極度ノ疲弊困憊ニ陥リ年穩團ヲ脱
シテ他ニ轉職セン意嚮ヲ存スル者續出スル
ニ至レルガ幹部等ハ結束ノ崩ルハ、ヲ會社ニ
探知セラレザラレ奉ニ努メ自免訪問ヲ為シ
家族ノ慰安ヲ為レ居レルモ大勢ハ既ニ豫
ハ餘儀無キヲ感知シ近ク最高幹部會ヲ開催
シ會社側ノ主張ニ從ヒ解雇非解雇者各別ニ
會見ヲ求メン意嚮ナルカ如ク之レカ實現ハ
晚ハ急轉直下の解決ノ曙光ヲ認メラルハ、
觀測セララル、モ尚相當ノ経緯過程ヲ要スト

三 會社側ノ態度

若月廿二日岡本井出両課長ト福田道之助外
十一名ノ職工代表會見ノ際會社側代表ノ自
決ヲ迫リ兩代表之ヲ一蹴シテ以來持久戦ニ
入りタルガ職工ノ象度困窮ノ度深ク八月末
家計詰拵ノ際シテハ強々結束崩ル、モノト
見越シ違クモ九月初旬中ニハ職工側ヨリ會
見ヲ申込来ルルヲ予測レ居レルガ若シ其際
尚頑強ニ對抗スルニ於テハ會社側ヨリ會見
ヲ申込ニ當テ初泰表ノ条件ニテ折衝シ模様ニ
ヨリテハ勤続年數ニ應シ手当額ニ差率ヲ附
シ多少ノ讓歩ヲ為ス意嚮ナルモ解雇手當ニ